



金城学院報

金城学院の明日を見つめる [ウィズ・ディグニティ]

vol.30
2017.12

【特集】

金城学院中学校
新校舎が完成

【クローズアップ】

金城学院大学
庫元 正博 教授
金城学院幼稚園
福岡 麻央 教諭

金城学院の景色

金城学院中学校の生徒の下校風景



You must have Dignity.

窓が多く明るいメディアライブラリー



メディアライブラリー2階の自習スペース



ケリーガーデン



金城学院中学校 新校舎が完成

新しい学びや交流を通して、豊かな人間性を育む 機能性とデザイン性に満ちあふれた環境へ

金城学院中学校ではこのたび、待望の新校舎が完成しました。

生徒たちは9月1日の始業式から新しい校舎へ登校しています。

新校舎には中心となるメディアライブラリーをはじめ、教室への電子黒板の導入など、

生徒たちがより一層学びを深められるような施設や設備が備えられています。

また学びだけではなく、中学生という多感な時期に豊かな人間性が養えるような空間づくりも配慮されています。

こうした新しい校舎への思いについて、深谷昌一校長にお話を伺いました。

Ⅰ 生徒たちの探求心を育て、魂と心が安らげる場を創出

今回の新校舎は「探究型の学習ができる空間の創出」に配慮しました。校舎の中心にはメディアライブラリーがあります。ここでは各自が集中して勉強できる自習スペースのほか、生徒たちが自分たちで調べて学び、発表するなど多目的に使える学習コーナーも備えており、アクティブラーニング型の授業にも活用できます。また各教室には電子黒板を設置し、iPadを使っての研究授業やプレゼンテーション、教員と生徒との相互通信による授業の展開などができるようになっています。こうしたICT教育の導入にあたっては、どのようなカリキュラムで電子黒板を活用するか、時間をかけて教員間で話し合っています。ハード面を先行するのではなく、導入にあたってどんな教育ができるのか、常にソフト面を先に考えることを大切にしています。

このような教育面もさることながら、生徒たちが豊かな人間性を育む場としての空間も十分に考慮しました。デザインは高校の榮光館を基調に、アイ

ボリーの明るいトーンでまとめています。特徴的なのは広い廊下です。生徒たちを見ますと、休み時間に廊下でほかのクラスや学年の友達と交流を楽しんでいるようです。こうした時間はお互いの信頼関係を育み、生涯の思い出になる大切なひとときです。今はスマートフォンなどでコミュニケーションを取る人が多くなっていますが、会って話をするのが本当のコミュニケーションであることを、施設を通して伝えたい。そういう意味でゆとりのある廊下やエントランスなど、校舎には“遊び”の空間が必要だと思います。校舎自体も大きな教材となって生徒たちの情緒や社会性、人間性を育んでくれると考えています。

また思春期の魂や心のケアも考え、より明るい雰囲気の中で祈りができるよう講堂を改修しました。保健室は女子校らしく優しい色合いでまとめ、生徒が心身ともにリラックスできる空間となっています。保健室の正面には相談室を備え、体と心のケアがすぐに行



深谷昌一校長

えるようにしました。さまざまな悩みを抱える生徒たちの心がここで少しでも癒されることを願っています。

ほかにもケリー先生への敬意を表して造ったケリーガーデンには校歌の石碑を配し、そのメロディラインをモチーフにして花々が植えられています。1年を通して美しく咲く花々が学校生活をより豊かに彩ってくれることでしょう。

生徒たちには「You must have Dignity」の教えのもと、新しくなったこの学び舎で人として、女性としての品格と教養を身につけてほしいと思います。そして“自立・自律・連帯”したピースメーカーとなって世に羽ばたいてほしいと願っています。

女子教育にふさわしい 充実した環境づくり

Ⅰ 特別教室や保健室も配慮

新校舎のエントランスの壁面には、金城学院のスクールモットーである「主を畏れることは知恵の初め」が掲げられています。また聖書に登場する麦・いちじく・百合・ぶどう・オリーブの植物のレリーフも飾られ、キリスト教教育を象徴する空間が広がります。

校舎の核となるメディアライブラリーは約9万4000冊もの蔵書を誇り、生徒たちの知的好奇心を駆り立てます。1階にはプレゼンやワークショップなどができるスペースがあり、クラスや部単位での活動に利用することができます。また2階はグループ学習に適したスペースや自習コーナーがあり、自主的な学習をしやすい環境が整っています。

各教室には電子黒板を設置し、実験の映像や拡大表示などの機能を利用しながら生徒たちの学習理解をより深めています。またプレゼンター

ションや研究発表にも活用することができます。

特別教室にもさまざまな配慮がされています。理科室にはテラスを配置。植物の光合成や太陽の黒点観察など、以前は外に出て行っていた実験もスムーズにできるようになりました。テラスは同じ階の教室にもつながり、生徒たちはそこで友達との交流を楽しむこともできます。また音楽室は天井を1m高くし、段差をつけることで以前より音響効果が向上。臨場感あふれる演奏や合唱で、音楽への学びや関心をさらに深めます。

生徒たちの体をケアする保健室は淡いピンクで統一、まるでお母様に抱かれているような優しく温かな雰囲気です。また相談室にはカウンセラーが常駐。多感で繊細な生徒たちの悩みに真摯に応えながら、心のケアを行っています。



柔らかい色調の保健室



音響効果が抜群の音楽室



快適な実験設備がある理科室



自然が対象の実験はテラスが活用できる



聖書を象徴するレリーフ



ICT教育を考慮した各教室

I 広い廊下や美しい庭が学校生活を彩る

各教室や施設をつなぐ廊下は緩やかなカーブを描くループ状につながれ、非常時にどこからでも迅速に避難ができるようになっています。廊下の幅はゆったりと広く、各所にコミュニケーションホールも設け、壁側にはベンチやテーブルも備えました。生徒たちはこの開放的な廊下で学年やクラスの枠を超えた友達との交流を深められます。

中庭にあるケリーガーデンは、日本で最初にハンドベルを伝えた金城学院の音楽宣教師、ケリー先生への敬意を込めて作られました。ケリー先生

のモニュメントや校歌を刻んだ石碑を配し、花壇は五線譜を表現しています。そこに金城学院の校歌をイメージした花を植栽。四季を通じて美しく可憐な花々が咲き誇り、金城学院の

スクールライフをさらに美しく彩ります。このケリーガーデンは一部の教室や廊下からも見るできるようになっています。愛らしい花々や陽光に輝く緑が、心を癒やしてくれます。



コミュニケーションの場となる廊下

生徒たちの声

新校舎で毎日過ごす生徒たちを代表して、3年生の二名にお話を伺いました。メディアライブラリーや教室の電子黒板など、さまざまところに使いやすさを感じているようです。



3年 山田風さん

Interview

新しい校舎で一番気に入っているのはメディアライブラリーです。特に自習スペースは使いやすく、テスト勉強がはかどります。教室の電子黒板も見やすいと思います。理科の授業では実験される先生の手元がよく見えて、まるで自分が実験しているように理解できます。また教室から見えるケリーガーデンの緑にも心がホッと癒されます。私はYWCAに所属しているので、これからはボランティア活動の下調べなどにメディアライブラリーをたくさん活用したいと思います。

Interview

校舎に入るとすぐ、壁面にスクールモットーがあります。それを毎朝見ることで自然に身につくと思います。また階段や廊下が広く、ほかのクラスや学年の友達ともゆっくりとおしゃべりできる空間があって嬉しいです。メディアライブラリーも開放的で、のびのびと勉強や調べものができます。教室の電子黒板も見やすく好きです。今は授業で先生が使われるだけですが、ゆくゆくは私たちも使ってみんなの意見を聞いたりまとめたりすることができたら楽しいと思います。



3年 杉本美実さん

CLOSE UP

クローズアップ

金城学院大学 国際情報学部 国際情報学科
庫元 正博 教授

1953年神戸生まれ。大阪大学文学部哲学科卒業後、大手広告会社でコピーライター、CMプランナー、クリエイティブディレクターとして広告企画、立案を手がけ、商品の企画、デザインや企業のブランディングなどに携わる。2010年より金城学院大学教授。専門は広告、マーケティング。研究テーマは「名古屋CM」。

自分で考え、企画できる力を養い、 リーダーとなって活躍できる人に

長年、広告業界の最前線で広告キャンペーンの企画、制作に携わり、多くの実績を残されてきた庫元正博先生。
金城学院で教鞭を執りはじめてからは、学生たちのために豊富な学習環境を創出し、優秀な人材を育ててこられました。
ゼミでは多様な産官学連携プロジェクトでの実践を通して、マーケティングの発想とプロジェクト実現への道筋を教えながら、
「自分の未来を主体的に考えて歩む力を身につけてほしい」と願い、日々、指導にあたられています。

Ⅰ 詩作に傾倒した青年時代、「書く仕事」をめざし広告業界へ

高校はテニス部と文芸部に所属していた、文芸部では詩を書いていた。大学に進んだあとも詩を書き続け、大学時代に2冊の詩集を自費出版しました。しかし大学5年次にバりにホームステイした際、詩や哲学だけではなくもっと広い世界を見ようと考えが変わり、書くことが仕事になる職業を模索した結果、コピーライターをめざすことにしました。

大手広告会社に就職し、約7年間コピーライターの仕事に携わりました。その後はCMプランナーや、クリエイティブディレクター、管理職も兼務しました。こうした中、仕事の一貫として

金城学院大学のマスコミプログラムの授業を受け持ったことがきっかけで、本学へ移り教員となりました。

学生たちは1年生でマーケティング論、2年で広告論、3年で消費者行動論

を学びます。これを学んだ学生の実践的な場がゼミです。意識調査、分析、理論的なまとめを行うのと同時に、学生の感性を活かした内容で企業へ新商品などのプレゼンテーションを行います。

Ⅰ 企画ができるだけでなく、リーダーとなれる企業人に

広告は科学的な要素と感性的な要素が必要です。物事を論理的に考える力と、それに縛られない感性を持ち、面白いことを真面目に、熱意を持って企画し、実行できる。そういう人をめざす学生がこのゼミに集まってきます。

今、教育現場では産学連携やPBL

(Project Based Learning)が注目されていますが、このゼミでやっていることはまさにアクティブラーニングを通じたPBLです。私はゼミ生全員に1年のうちにいずれかのプロジェクトのリーダーを割り当てます。与えられたプロジェクトを成功させるためには何が必要で、リーダーの役割は何なのかを自覚してもらうことが目的です。全員がリーダー

を経験すれば、リーダー以外のときはどうすればリーダーを支援できるかわかるようになり、助け合うことで、チームとしての信頼関係が生まれます。社会に出れば、男女関係なく求められるのはリーダーです。企画と同時にプロジェクトリーダーが担える人、またリーダーを支えられる人を育て、世の中に送り出すことが私の役割だと思っています。

また仕事に取り組む上で大事なものは、「仕事はすべてがオリジナルでクリエイティブである」という思いを持つことができるかどうかです。企画の仕事だけではなく、営業も販売もクリエイティブな要素、オリジナルな要素はいくらでもあります。そこで自分の力を発揮できる人になってほしい。大学での学びと実践を通し、自ら考える企業人、企画できる企業人になってもらいたいと願っています。

庫元先生はどんな人!?

ゼミの3年生に庫元先生の印象を伺ったところ、「プロジェクト進行中は厳しく、普段は優しく接して下さいます」「各々の性格をよく捉え、それぞれに合った教え方をして下さいます」との声が聞かれました。また、「実戦的でとても勉強になります」との感想も多く、学生から信頼され、熱心に指導に当たられる先生のお人柄が窺えました。



CLOSE UP

クローズアップ



金城学院幼稚園

福岡麻央

教諭

1983年埼玉県生まれ。高校卒業後、金城学院大学人間科学部現代子ども学科へ進学し、幼児教育や心理学について学ぶ。2006年金城幼稚園の教諭となる。幼稚園教諭、保育士、認定心理士。

1人ひとりの子どもの個性を認め、 のばしていける保育者に

幼少のころから子どもが大好きで、憧れの幼稚園教諭の夢を叶えた福岡先生。

「1人ひとりの個性を認め、それをのばすサポートをすることが保育者の仕事」と話し、

子どもたちと一緒に遊んで「みんなに教えられることも多い」と自らも成長しているとおっしゃいます。

また「大きくなってもここで身につけた優しさを忘れないでほしい」と願い、日々園児たちを見守っていらっしゃいます。

I 子どもにとって一番大切なことを考える

私が幼稚園の先生になりたいと思ったのは、3歳のときです。昔から小さい子が大好きで、近所に住む自分より小さい子たちに積極的にお世話していたことを覚えています。成長するにつれて子どもの心理にも興味を持つようになり、幼児教育だけではなく心理学も学びたいと思い、金城学院大学を選びました。

大学での学びで印象に残っているのは、現代子ども学科の日比野直子先生の講義です。保育現場での子どもとのやりとりの話は大変興味深く、心に響きました。中でも「上手に保育をしようとするのは自分の保身。子どもにとって何が一番大切かを考える保育をすること」という言葉は今も私の礎となっています。子どもの前では取り繕わず、子どもたち1人ひとりを認めてその個性を大切にするように心がけています。

私が担任するほし組には年少児から年長児まで26人の園児がいます。日々園児たちと一緒に過ごしながら、子どもたちがいろいろなことを自分の力でできるようになるまで見守り、サポートするようにしています。先日、運動会で年長児のリレーがあったのですが、そのメンバーに走ることが好きではない子がいました。なかなか練習もできなかったのですが、みんなから出たのは

「運動会はみんなで一緒に走ろう」という言葉。園児たちはその子を決して責めることなく、よいところを認め、受け入れ、一緒に走ってくれることを待ったのです。運動会当日は無事全員で走ることができました。こうした姿を見ていると、子どもが苦手なことを自分の力で

克服できた感動もさることながら、あらためて大人の焦りや考えで物事をすすめてはいけないということを実感します。園での生活の主役は保育者ではなく、園児たちです。そのことを忘れず、日々みんなと共感しながら自分自身も成長していけたらと思っています。

II 保護者の思いにも応えられる保育者に

園児たちは縦割り保育という環境の中で、年下児への優しさや思いやりも身につけています。自分が年長児からお世話してもらったことを覚えていて、今度は自分たちの番とばかりにお世話をする姿を見ているととても嬉しいです。大人になって幼稚園のことを覚えている人は少ないですが、こうした優しさは心の礎となるとと思っています。

園児たちはこれから大きな世界へ

飛び出していき、さまざまなことを体験していきます。どんなときも、幼稚園で身につけた優しさや思いやりを忘れないでいてほしいと思います。またそれを大切な人と分かち合える人になってほしいとも願っています。私自身もこれからは1人の母として、保護者の方々の子育てや心配事にも親身に寄り添える存在になっていきたいと思っています。

福岡先生はどんな人!?

ほし組の保護者の方々に、福岡先生の印象を伺いました。すると「子どもたちと同じ目線で遊んでくれるので、子どもはみんな先生のことが大好きです」「子どもがとても好きなことが伝わってきます」という声が聞かれました。また「本当に子どもたちの面倒をよく見てくれます」「安心して預けられます」との声も多く、熱心な保育者としての姿も窺えました。





「副専攻(実践ビジネス英語)プログラム」がスタート

I 集中講義やWEB学習も取り入れる

大学では、2017年度入学生より「副専攻(実践ビジネス英語)プログラム」を導入、開始しました。「このプログラムは、学生が自分の在籍する学科やコースの専門技能に加えて、グローバル社会で対応できる英語力を身につけることを目的としています」と、言語センター長の水野真木子先生は話します。

プログラムを受講できるのは、英語や外国語を専門分野としない11学科から選抜された各学年の30人です。プログラムは、一般英語科目に加え、「TOEIC L&Rテスト」のスコア向上に特化した科目、海外でのビジネス英語

研修、英語レポート作成で構成され、これらすべての単位の取得とTOEIC L&Rテストのスコア730点以上を目指します。このプログラムの費用は大学の全額負担となります。

具体的に、1・2年次の「英語コミュニケーションA～D」では通常の英語学習を実施。1～3年次まで春休みや夏休みの期間中に「実践ビジネス英語」として3日間の集中講義とウェブ学習を行い、4年次はプログラムの総まとめとして英語レポート作成を行います。水野先生は「特にウェブ学習は1日25分間、最低25日受講しなくてはならず、学生のやる



文学部 英語英米文化学科
言語センター長
水野 真木子教授

法と言語学会副会長。日本通訳翻訳学会、日本コミュニケーション学会、日本国際文化学会に所属。専門分野は通訳翻訳学、法言語学。

気と持続力が重要になってきます」といいます。またTOEICのスコアアップをめざした自習用のソフトウェア教材も自由に使うことができ、学生は授業とは別に自習をしっかりと行うことで、かなりの英語力を身につけることができます。

I 海外ビジネス研修で力を磨く

2年次の春期には「海外ビジネス研修」としてカナダ南西部ブリティッシュ・コロンビア州にあるロイヤル・ローズ大学で7日間の研修があります。これに先立ち、トライアル研修として昨年と今年の2月に対象学部から選抜された5人の学生が海外ビジネス研修を受講しました。

研修ではビジネス英語マナー研修をはじめ、インターナショナルホテル



研修やツーリズム研修が行われました。またビクトリアボランティア協会を訪問して、現地のボランティアのシステムについて学ぶことができ、学生は、充実した海外研修を終えることができました。「ロイヤル・ローズ大学は自然に囲まれたすばらしい学習環境に恵まれています。ホームステイも体験できて、学生はみな楽しく研修ができたようです」と水野先生は話します。「トライアル研修の反省点もいくつか踏まえた上で、今年は女性のリーダーシップについての研修など、金城学院大学らしいプログラムも取り入れていただくように提案しています」。

この副専攻プログラムを通して、水野先生は「今の社会はどの分野に



においても英語ができる人材を必要としています。専門的な知識を持ち、なおかつ英語に強い人材として、社会の即戦力となって活躍できる女性になってほしい」といいます。またプログラムはコツコツと真面目に頑張ることができる学生に受講してもらいたいとも話します。「自分の付加価値をつけるためにあきらめず努力できる人や、国際的な感性を持った学生に頑張ってもらっています」。このプログラムを通して、グローバル社会でおおいに活躍できる人材が育成されることを期待します。

縦割り保育の拡充を願い、満3歳児保育スタート

I 年少児よりさらに丁寧な関わりで保育

幼稚園では金城学院の長期計画の実現と、3・4・5歳児の縦割り保育の拡充を考えて、今年度より満3歳児保育を開始いたしました。満3歳児保育は3歳の誕生日を迎えた日より入園することができます。年少児より一学年小さい子どもたちのクラスです。この時期は成長発達の差が著しく、生活の自立に大切な時期でもあるため、年少児よりもさらに丁寧な関わりが必要です。



そのため、定員12名の少人数クラス編成となっています。満3歳の日から入園できるため、誰もが無理なくゆっくりと社会生活に慣れていくことができるところが特徴でもあります。

クラス名は「にじ組」です。その由来は、創世記6章～に記されています。神さまの御前にノアと家族、動物たちを箱舟に乗せ、洪水から救われたあと、神さまは「二度と洪水によって肉なるものがことごとく滅ぼされることはなく、洪水が起こって地を滅ぼすことも決してない。すなわち、わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。」とノアと息子たちに約束されました。また虹の

輝きの美しさは、天における神の栄光の象徴とされています。子どもたちが常に神さまに守られその栄光に照らされることを願い、にじ組と名付けました。

9月に入り、にじ組12名全員がそろいました。以前絵本の部屋として使用していた保育室を改装し、満3歳児の子どもたちにぴったりの可愛い部屋に生まれ変わりました。机も椅子もミニサイズです。自由な遊びの時間には、3・4・5歳児や担任と一緒に遊び、クラスのあつまりでは手遊びや絵本、体操とさまざまなことを楽しんでいます。毎日かわいい姿を見せてっていますが、その中のほんの一部をご紹介します。いただきます。

I 心を和ませてくれる愛らしいエピソードの数々

“おおかみさん今何時?”という鬼ごっこ遊びをしていたとき、「おおかみさん」と聞いて怖くなって「やりたくない」と言ったAちゃん。しばらくしてから気持ちが変わり、おおかみ役になりました。「おおかみさんいまなんじ?」「よなかの10じ!」「あーよかった」とこの繰り返しが続きました。本来は「夜中の12時」とおおかみ役が言うと、みんながおおかみに捕まらないように逃げるという遊びですが、ずっと捕まらないというオリジナルの遊びになりました。

また年上児がバザーでお店屋さんをするための物を作っていた様子を見て、にじ組の子どもたちも挑戦。きれ

いな模様の紙をのりで上手にはがきに貼ることができました。「これはバザーでお店屋さん並べて売るんだよ」と説明をすると、「バザーってなに?」「売の?」「買える?」と子どもたちから質問の嵐。「バザー」という言葉を何回も聞いたからか、作ったのはがきを「バザー」という名前だと思い、「ぜったいバザー買う!」と可愛い言葉も聞かれました。



した。

このようににじ組の子どもたちはみんなの気持ちを和ませてくれます。また戸外でも室内でも年上児が遊んでいる姿を見て、楽しそうだなと思ったら真似をし、年上児からもたくさん愛情と刺激を受けて過ごしています。今後にもにじ組の子どもたち一人ひとりが、同年齢・異年齢児との関わりの中でたくさんを経験し、心身ともに成長していくことを願っています。

英語での発信力高め、グローバルな視点を養う グローバル・ディスカッションに5人が参加

Ⅰ 他校の生徒とグループを組み、討論の結果をプレゼンテーション

8月21、22日に名古屋大学教育学部附属中・高等学校で行われた「グローバル・ディスカッション」に高校の黒部麻由子さん(3年)、大宮璃子さん(2年)、山崎みのりさん(2年)、大野千夏さん(2年)、赤根実侑さん(2年)が参加し、「スーパーグローバルハイスクール」指定校の生徒たちとの英語討論を行いました。

参加者は希望者から選抜で決定。柳瀬公代先生とロレンス・ブレイブ先生による事前学習を経て当日に臨みました。



討論会では学校が異なる5人でグループを構成。「自由主義経済と保護主義経済の衝突、日本はどうあるべきか」をテーマに話し合い、最終日に発表が行われました。

黒部さんは「テーマが難しく最初は迷ったのですが、大学生になる前にもっと学びたいという思いがありました」と参加し、充実した2日間を過ごしたといいます。また大宮さんは「みんなが自分の意見をしっかりと発信できていて、刺激を受けました」と話します。山崎さんは「反論や質問が返ってきたとき、すぐに答えられなかったことがあり反省しました。」と自身の課題を見つけたようです。



大野さんは「世の中にはいろいろな視点があるのだということを感じると同時に経済の面白さにも気づきました」と振り返ります。赤根さんも「リーダーや書記など役割を決めて話し合いました。この方法をDignity(総合的な学習の時間)でも応用したいと思います」と成果を得ました。この経験を今後の授業で活かしていきます。

高校グリークラブが 全国大会に出場

Ⅰ 33年ぶりに中部合唱コンクールで金賞受賞。全国大会へ

高校グリークラブが9月23日に金沢歌劇座で行われた「第70回中部合唱コンクール」に高校A部門で出場し、見事金賞を受賞しました。夏休み返上で練習をしてきた生徒たちは当日すばらしい演奏を披露。「みんな驚き、大喜びでした」と顧問の宮木令子先生は話します。

10月28日に大阪フェスティバルホールで行われた全国大会でも日頃の成果を発揮。「演奏できて嬉しかった」「最高の演奏ができました」と部長の柴山美帆さん、副部長の酒向綾音さんも笑顔。グリークラブはメサイアやクリスマスの演奏に向けて今後も頑張っていきます。





名大MIRAI GSCで高校2年の 鈴木暖生さんが最終ステージに選出

Ⅰ 来年3月のドイツ研修へ参加、英語での研究発表へ

科学の世界を牽引する人材を養成するため名古屋大学が行う「名大MIRAI GSC(グローバルサイエンスキャンパス)」の最終ステージに高校2年の鈴木暖生さんが選ばれました。

今回の選考では、高校生260人の応募の中から書類選考を通過した180人が名古屋大学で講義を受ける第1

ステージに参加。ここで選ばれた50人が実験や実習の研修を行う第2ステージにすすみ、海外研修を行う第3ステージには鈴木さんを含む26人が選抜されました。

「研究室では肺がんの分子標的薬について研究しました。高度な実験を行い大変でしたが、いろいろな人



たちとの交流を通し視野が広がりました」と鈴木さん。現在は12月の岡崎市での研究発表「科学三昧inあいち」、3月のドイツの大学での発表に向け準備をすすめています。



NIE全国大会で高校の生徒たちが活躍

Ⅰ 武岡先生の実践発表で授業再現、 放送部員が大会全体の司会を担当

8月3日、4日、名古屋国際会議場で行われたNIE(Newspaper in Education)全国大会に金城学院高校の生徒が参加。大勢の学校関係者や新聞関係者が見守る中、司会と実践発表の授業で活躍しました。

2日間にわたって司会を務めたのは放送部の2年生、磯谷みずほさん、吉田彩夏さん、西山みづきさん。磯谷さんは「開会式で何度も名前を紹介するところがあり、間違えないよう気をつけました」と振り返ります。吉田さんは「棒読みにならないよう心掛けました」

と話し、西山さんは「2000人以上の方々が注目して聞いてくださって嬉しかったです」と感想をのべました。

3年生の林珠衣奈さん、早瀬綾乃さんら12人の生徒たちは2日目に行われた武岡基先生の授業の再現をする実践発表を行いました。

武岡先生は社会科の選択科目「社会問題」で生徒が作った新聞切り抜き作品をもとにプレゼンテーションと質疑応答をする形式の「POSTER-Q」という授業を行っています。今大会では林さんと早瀬さんが発表者を務め、



ほかの生徒が質問をする役割を行いました。

林さんは「事前にお聞きしていたよりも会場には多くの方がいらっやっやいて、とても緊張しました」と全国から来ている学校関係者の多さに圧倒された様子。新聞を使った授業について早瀬さんは「深くものごとを考えられますし、意見を交換する機会がある点が楽しいです」と話します。

武岡先生は「準備の時間が少なかつたにも関わらず頑張ってくれました」と生徒たちの活躍をほめていらっやいました。



Christmas Special Calendar



金城学院大学

大学クリスマス礼拝

- 日時 12月21日(木) 17:00~18:00
- 場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂
- 説教者 河野 言使 先生
(日本基督教団春日井教会牧師)
- 特別讃美 大学クワイア、
大学ハンドベルクワイア



金城学院中学校

ハンドベルクワイアのクリスマス

- 出演 中学ハンドベルクワイア
- 日時・場所
- ◎12月9日(土) 10:00
名古屋刑務所
- ◎12月10日(日) 14:00
栄聖書教会
- ◎12月16日(土) 15:00
NTT西日本東海病院
- ◎12月17日(日) 14:00
日本基督教改革派尾張旭教会
- ◎12月22日(金) 18:00
高校定期演奏会賛助出演
- ◎12月23日(土) 13:30、15:00
明治村
- ◎12月24日(日) 15:30
ミッドランドスクエア
- ◎12月25日(月) 15:30
ミッドランドスクエア

ハーブアンサンブル部

- 日時・場所
- ◎12月9日(土) 10:00
みどり野会クリスマス礼拝
- ◎12月17日(日) 14:00~16:00
日本基督教団中京教会

金城学院高等学校

ハーブアンサンブル部

- 日時・場所
- ◎12月16日(土) 15:00
NTT西日本東海病院クリスマス会
- ◎12月17日(日) 10:30~12:30
日本基督教団名古屋西教会
- ◎12月23日(土) 17:00~19:00
日本基督教改革派豊明教会

金城学院高等学校

キャロリング

- 出演 高校グリークラブ
(中学グリークラブも出演します)
- 日時・場所
- ◎12月9日(土) 12:00、15:00、17:00
中日ビル(中学3年以上)
- ◎12月14日(木) 16:30
名古屋通信病院(中学3年以上)
- ◎12月17日(日) 10:30
日本イエスキリスト教団
名古屋東教会(高校3年のみ)
- ◎12月22日(金) 17:15
公立陶生病院
(中学1年~高校3年全員)
- ◎12月24日(日) 16:30
ミッドランドスクエア
(中学3年以上)
- ◎12月25日(月) 13:30
SMBCパーク栄(高校生のみ)
鑑賞希望者は要予約
- ◎12月25日(月) 16:30
ミッドランドスクエア
(中学3年以上)

※開始時刻は変更されることがあります。



クリスマスハンドベル演奏

- 出演 高校ハンドベルクワイア
- 日時・場所
- ◎12月10日(日) 13:00
日本キリスト教団尾張一宮教会
- ◎12月17日(日) 13:00
日本キリスト教団南山教会
- ◎12月23日(土) 12:30
名古屋港水族館
- ◎12月23日(土) 18:00
日本キリスト改革派津島教会
- ◎12月24日(日) 15:00
ラシッククリスマスステージ
- ◎12月25日(月) 15:00
名古屋市記念病院



金城学院幼稚園

クリスマス礼拝(満3歳児)

- 日時 12月13日(水) 10:45
- 場所 金城学院幼稚園

クリスマス讃美礼拝(親子)

- 日時 12月14日(木) 9:50
- 場所 金城学院幼稚園



クリスマス親子礼拝

- 日時 12月16日(土) 13:30
- 場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂
- プログラム
- ◎礼拝
- ◎中学校 高等学校グリークラブミニコンサート
- ◎年長児キャロリング
- ※15:30頃より名鉄瀬戸線大森・金城学院前駅にて

定期演奏会のご案内

ハンドベルクワイア定期演奏会

- 出演 高校ハンドベルクワイア
(大学及び中学ハンドベルクワイア
も賛助出演します)
- 日時 12月22日(金)
17:30開場 18:00開演
- 場所 中電ホール
- 入場料 無料(入場にはチケットが必要です)

ハーブアンサンブル部定期演奏会

- 出演 中学・高校ハーブアンサンブル部
- 日時 2018年3月20日(火)
13:00開場 13:30開演
- 場所 金城学院高等学校 栄光館
- 出演 中学ハーブアンサンブル部
- 日時 2018年3月21日(水)
13:00開場 13:30開演
- 場所 金城学院中学校 小礼拝堂



グリークラブ第39回定期演奏会

- 日時 2018年3月24日(土)
15:15開場 16:00開演
- 場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

創刊号を振り返って

学院報は創立80周年の1年前にあたる1968年6月1日に創刊されてから、毎年春と秋二回、欠かすことなく発行され、今回で通巻第100号(通称をwith Dignityに変更してからは30号)を迎えることができました。冊子形態の「with Dignity」に変更するまでは新聞のような見開きで、創刊号は8ページ構成で発行されています。金城学院の現状や未来について、また行事や人事などに関して印刷物を通じて学生、生徒、保護者及び教職員の理解と協力を得ることを目的に、今も変わらぬ姿勢で作り続けています。

創刊号を振り返りますと、当時の学院長は戸近太郎先生、副院長が近藤武一先生、宗教総主事が富田望先生でいらっしゃいました。戸近学院長が巻頭特集で金城学院のこれまでの歩みの概要を示され、3ページ目以降には、各学校の施設の現状が紹介されています。特に施設については、「威容を誇る永久校舎一戦後に建てた10棟-」の見出しのもと、各校舎の外観写真が紹介されています。そこには旧中学校の信愛館、恵愛館も紹介され歴史が感じられます。

戸近太郎先生は創刊号で、「金城学院は規模が大きくなり、変貌しようとも建学の精神は、全然変わることはない。金城学院

の教育目標は、人は霊とからだから成立していることを認識し、それぞれ個性のある教養高い女性を育成するためである」と言っておられます。

2019年に金城学院は創立130周年を迎えます。戸近太郎先生の言葉を礎に、これからも建学の精神を堅持して歩む金城学院の姿を学院報でわかりやすく、楽しく伝えていけるように努めていきたいと願っています。

金城学院報創刊号



学院報編集委員会

クリスマスメッセージ

「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。」

フィリピの信徒への手紙2章6～7節a

『クリスマスという決断』

キリスト教の神は〈全能の神〉と呼ばれることがあります。しかし神はあえて、その全能を行使して一つの選択をとる決断をされました。それはクリスマスの出来事、すなわち神は独り子イエス・キリストとして、私たちと同じ人間となってこの世に来て下さり、私たちの罪を背負い、十字架の死に至る生涯を送って下さったことです。そのご生涯を通して私たちは、重荷を負っている他者に仕える歩み、愛を以て接していく生き方が示されました。だから私たちもまた、隣人と共に歩み、隣人に仕える生き方を選びとりたい——クリスマスのこの時、愛の労苦に生きようとする全ての方たちの歩みの上に、神の祝福と導きが豊かにありますように。

落合 建仁 (金城学院大学 文学部宗教主事)

「みどり野会(同窓会)より」

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です
『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)
旧約聖書詩篇第23篇から名付けられました

「主はわが**ほくや**牧者なり われ**とも**乏しきことあらじ
主は我を**われ**みどりの野に**の**ふさせ **いこい**の水濱に**みどは**ともなひたまふ」
神さまによってこの学院に集められた私たちが
卒業後母校に集まり **いこい**の時を過ごす場という意味で
「みどり野会」はいつも皆さんと共にあるのです

みどり野会からのお知らせ

2017年度クリスマス讚美礼拝

- 日 時/2017年12月9日(土)10:30~
 - 場 所/金城学院中学校 白百合館礼拝堂(駐車場は利用不可)
 - 礼 拝/日本基督教団中京教会 松本 周牧師
- クリスマス讚美礼拝とテナー独唱のミニコンサートを予定しています

2018年度 みどり野会総会

- 日 時/2018年4月21日(土)10:00~14:00
- 場 所/名古屋 東急ホテル
- 礼 拝/日本基督教団名古屋教会 田口 博之牧師

2018年度 修養会

- 日 時/2018年6月27日(水)
- 場 所/アクアイグニス(湯の山温泉)
- 礼 拝/日本基督教団鈴鹿教会 石田 聖実牧師

◎お問合せはみどり野会事務局まで
本 部 TEL.052-931-4480(中学校白百合館1階)
分 室 TEL.052-798-0193(大学本部棟4階)
H P http://www.kinjo-midorino.com
※活動情報は会報「みどり野99号」をご覧ください